



コミュニティ・スクール
鳥栖市立基里中学校 学校だより

きりの里 第12号

令和4年12月8日 校長 牟田美弥子

【学校教育目標】

誇りと生きる力を身につけ、心身共に豊かな基里っ子の育成

【令和4年度の重点目標】

- ①自分たちで学校の良い雰囲気をつくる
- ②周りに信頼されるにはどうあるべきか考えて行動する



☆『誰かを幸せにするために学ぼう』 卒業生 弓削啓太シェフ

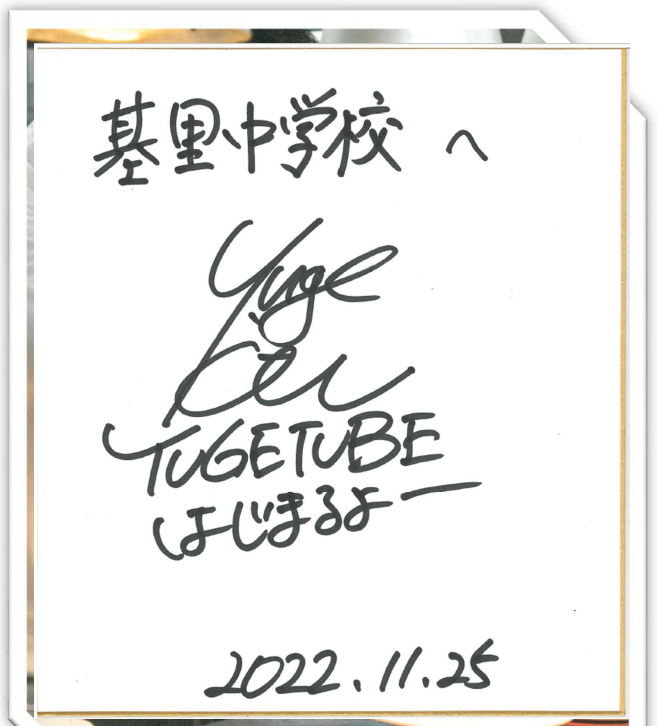
「日タイタリアンの料理のメニューを考え、そして作るということをしています。それと同時にイタリアの文化や歴史を学び、料理に文化や歴史を加えて作るようにしています。学んで作ったものとそうでないものは違います。そこで、みなさんに話をするにあたって、みなさんの人生を1つの料理と考え、人生を最高の一皿にするには、どうしたらよいかを自分なりに考えてみました。

美味しい料理をつくるには、食材の調達が必要です。調達と言いましたが、君たちは一人一人すでに最高の食材を持っています。君たち自身、誰もが最高の食材なのです。その食材をより美味しくするために、料理なら洗ったり下ごしらえをしたりという仕込みをしていくのですが、君たちなら勉強をすることが仕込みになります。勉強をして君たちの持っている食材を美味しくしていくのです。なぜ仕込み、勉強をしていくのか、なぜよい食材を美味しくするのか、理由があります。それは、より多くの人を幸せにする可能性を広げ、より多くの人に感動を与える可能性を広げるためです。

私自身、苦手な教科もありましたが、例えば数学は本やウェブのデザインに、国語は作った料理のおいしさを伝えることに、英語は日本のマーケットを超えて英語圏の方と何ができるか考えるときに役に立ちます。君たちも、“苦手な勉強だけど、この勉強で将来誰かを幸せにするかもしれない”と考えて取り組んでほしいと思います。

そもそも“人を幸せにする必要があるのか”と考えてみます。2019年、パスタ世界一になって、これからというときにコロナが広がり、飲食業、自分のレストランも大変でした。お客さんが来ない。お金を稼ぎたいと思ってやっても上手くいかない。

そんなとき、ニュースでスーパーからパスタが売り切れているということを知りました。一緒に働く後輩たちのモチベーションを上げ少しでも楽しくやりたい、おうち時間を過ごしている人たちを少しでも幸せな気持ちにできたらという思いで、YouTubeの配信を始めました。それをきっかけにより方に動き始め、誰かの幸せに繋がることをすれば、自分も幸せになれるということが分かりました。ですから、今は、料理をすることで人を幸せにしたいという思いを込めて、料理を作っています。



『「パスタ世界一」がかなえる至福の家イタリアン』の本に、サインをいただきました。(2ページ)
図書室に置いてあります。

高校時代、プロ野球を目指し野球に真剣に取り組むなかで、身体を作ること、身体により物を食べる事へと意識が向きました。そして野球で身に付けたきびきびとした動きが血洗いのアルバイトに生かされ、その働きぶりを見た店長が料理学校につないでくれた。何事であっても、その時その時で真剣に打ち込んでいれば誰かが見てくれています。料理学校卒業後は、修行のためにと、日本で一番厳しいと言われている店を選んで入りました。本当に厳しくて大変な下積み時代でしたけれど、そのとき頑張ったから今があります。一流のフランス料理を学ぼうとパリの三つ星のレストランに何通もの手紙を送って入店を許され、修行を続けまし



た。その時、一流の味を覚えるための食べ歩きでお金がなくなり、自炊をするために通ったスーパーで安くて美味しいパスタに出会いました。“パスタはみんなが大好き。パスタで多くの人を幸せにできたらなあ”と考えました。いろいろなことがありましたが、ひとつも無駄なことはありません。

君たちは今、学校の勉強で基礎知識を学んでいます。何かやりたいことが見つかったら、先輩や大人、それを経験している先人の知恵を見て学んでいくこと、独りよがりではなく周りの意見を取り入れることが大事です。まずはモノマネ、目で見て盗んでまねていく、それが上達の早道です。これから先、変化する時代に合わせた勉強を積み重ねて“いい仕込み”をしてほしい。そうすることで君たちの人生が“いい一皿”に仕上がると思います。」

校長室に戻ってから、図書室に置いている弓削さんの著書にサインをいただきました。そして、「生徒たちから質問がなかったら、中学生が家庭でつくり家族にも美味しいと食べてもらえる“基里っ子パスタ”のレシピをリクエストしようと思っていました」と伝えると、弓削さんはサインをしたばかりの本のページをめくって「この目玉焼きカルボナーラはどうですか？」とすぐに紹介してくださいました。(36ページ)

作り方は本を見てもらいたいのですが、「イタリアでは定番。半熟目玉焼きができれば誰でも簡単で失敗なし」と書かれています。材料はすぐに手に入るものばかり。ぜひ作ってほしいと思います！

目玉焼き

カルボナーラ

シェフおすすめ
基里っ子パスタ

シェフおすすめ
基里っ子パスタ

材料 2人分

スパゲッティ 1.8mm を 200g

ベーコン 60g(4枚)

卵 4個

んにく(つぶす) 1かけ

オリーブオイル 40g
(大きじ3と1/3)

粉チーズ 40g
(大きじ6と2/3)

塩、こしょう 少々

「弓削さんは野球をしていたけど、スポーツで身につけた能力は、スポーツ以外の他の仕事などに応用できるという話を聞いて、人生の中でとても大切なことだと思った。プロなどにならなくても、これからの社会の中での生活できっと役に立つことがあると分かったので、今やっていることを一生懸命にやっていきたい」3年 山崎太一

「何かの世界一になっている人から話を聞くのは初めてだったので、今日がとても楽しみでした。高校卒業後、思い切って外国に行くという大きな決断をして、言葉もよく分からないところに一人で行くのはすごいなと思いました。今では、日本語、英語、フランス語を話せるのがとてもうらやましいです。野球では甲子園に行っていて、とても懂れます」3年 古賀祥太

「パスタのことや弓削さんのお話を聞いて、“誰かを幸せにするために勉強などをしていると思ったらいい”という言葉が心に残りました。私は苦手なこともあって嫌だなと思うこともあるけど、いつか自分が頑張ったことで誰かを幸せにできたらいいなと思います」1年 川口由月

「勉強、野球などいろんなことにやる気が出てきました。野球の練習をしていたおかげで体力が付き、皿洗いのスピードが上がり、料理をしないかと誘われたという話をされたとき、今頑張っていることがこの先の人生に大きく関わるかもしれないと思いました。ぼくもそのことを信じ、何事も頑張っていこうと思います。」1年 前間竣平

「弓削シェフのお話を聞いて、思わぬところで学んだことが役に立つと思いました。僕はいつも勉強するとき、何の役に立つのか分からずにやっていたけど、学んだものは無駄ではなく必ず自分のためになると知りました。これからは勉強する意味を考えていきたいです」2年 前間陸仁

☆12月の予定

- 12月7日 基里小中合同あいさつ運動
- 12月8日 3年生受験用写真撮影
- 12月8～13日 基里中人権週間
- 12月9日 授業参観(全学年) 13:30～
1、2年学年懇談会 14:30～
- 12月12日 鳥栖市いじめいのちを考える日
- 12月13日 第2回いじめいのち集会
- 12月16日 大掃除
- 12月20～21日 1年教科日本語(礼儀作法)
- 12月20日 生徒会専門委員会
- 12月23日 2学期終業式(給食・牛乳なし)
- 12月24日～1月9日 冬休み